

就職みらい研究所の活動について

就職みらい研究所は、新卒市場に関する「調査研究」「情報発信」を目的とした研究機関です。

2013年に株式会社リクルートキャリア内に設立され、2019年で7年目を迎えます。

新卒学生の“就職・採用の実態”を把握するための調査や、事例研究などをコア領域として活動しております。

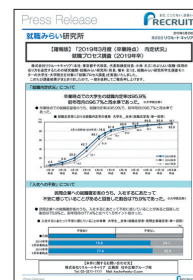
研究所の活動領域

“よりよい就職とは何か”を広く、深く探究するために、さまざまな視点から新卒市場を調査・研究しております。
主な研究領域は「学生の就職活動・学生生活」「企業の採用活動」「若手社会人の活躍実態」です。

調査研究

新卒市場の現状を広く細やかに把握することで、未来を見通す知見を蓄えます。

基幹調査である「就職白書」「就職プロセス調査」を中心にさまざまな調査・研究を行っています。「就職白書」では、その年の企業、学生の採用・就職活動を振り返り調査し、その年の市場において何が起こっていたのかを把握。「就職プロセス調査」では、就職活動を行っている学生の就職内定率や就職活動実施率などをタイムリーに調査。「入社先の決め手」や「インターンシップ経験の有無別の就職内定率」などその時々で注目度の高いテーマについても聴取しています。他にも、「大学生の地域間移動に関するレポート」や、「働きたい組織の特徴」などの調査研究を行っています。



就職プロセス調査



就職白書

社会活動

内外の様々な専門家たちと知見を共有し、就職・採用にかかわる人々の相互信頼を高めます。

就職・採用の現場を知る機関として、大学や企業での講演活動や、調査報告、市場状況についての取材対応、執筆を実施しています。また学生、企業に対しても「産学ワールドカフェ」などのイベントを開催。就職・採用活動に直接かかわる問題だけでなく、インターンシップの状況や、入社後の定着、働き方も含め広いテーマでの情報共有に努めています。



企業・大学関係者・学生が集う「産学ワールドカフェ」。大学生や保護者に向けて講演を行うことも。

情報発信

集めた知見を広く発信し、就職・採用の変革を促します。

調査結果を、プレスリリースやサイト上のコンテンツとして発信しています。2019年2月25日には「就職白書2019」のプレスリリースに際し、報告会を実施。多くのメディアに取り上げられました。また就職みらい研究所のホームページでは、調査結果のリリースやイベントや講演の活動報告など最新情報を公開しています。
(詳しくはP54をご覧ください。)



「就職白書2019」の報告会では、前年度の調査結果からの変化を中心に報告した。